

志段味中学校分離新設校 建設準備委員会だより

令和4年12月吉日
発行：志段味中学校分離新設校
建設準備委員会

第1号

生徒数の増加に伴い、志段味中学校が将来的に過大規模校となることを見込まれることから、このたび新たな中学校の開校に向けて「志段味中学校分離新設校建設準備委員会」を発足しました。建設準備委員会では、通学区域や校名などを協議し、その結果を名古屋市教育委員会へ報告します。

新設校が、子どもたちと地域の皆様にとって魅力と誇りに満ちた学校となるよう、取り組んでまいります。

今後とも、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

これまでの活動状況

建設準備委員会を2回開催しました。

主な内容は、以下のとおりです。

【第1回】7月22日

○志段味中学校分離新設校について、教育委員会より新設校開校に向けての事業概要の説明を受けました。

また、新設校の通学区域については、上志段味学区の人口規模を踏まえ、1小1中（上志段味学区の児童が新設校に通学すること）を基本とし、現在委託通学措置を実施している地域（本来学区は上志段味学区であるが、通学先を志段味東小としている地域【裏面参照】）について、進学先の中学校をどのように考えていくかを、建設準備委員会で検討してもらいたいと説明がありました。

○建設準備委員会の規約が承認されるとともに、委員長及び副委員長を始め役員が選出されました。

【第2回】9月9日

○新設校の通学区域の考え方について検討しました。教育委員会から提供された情報を元に協議しましたが、なお慎重に協議する必要があることから、次回も継続して検討することになりました。

《主な意見等》

- ・上志段味小のように、新設校開校後すぐに増築などは二度とあってはならない。
- ・中志段味地区の区画整理事業の進捗も考慮する必要があるのではないかと。
- ・上志段味地区の区画整理事業は令和8年度までであり、今後さらなる人口急増の可能性は低いのではないかと。
- ・通学区域の考え方によっては、志段味中に志段味東小出身の子どもが少なくなり、肩身が狭くなってしまわないかと。
- ・ただでさえ、現在上志段味学区の一部を志段味東小へ通わせているという複雑な状態なのに、中学校の通学区域でも異なる地域割りを加えて持ち出すと、児童、生徒や地域活動に影響が出てしまわないかと。

志段味東学区、上志段味学区、志段味中、志段味東小、上志段味小の関係者で構成されています。



志段味中学校学区図

志段味中学校学区地図

網掛け斜線の地域については、本来は上志段味小の通学区域となるところ、志段味東小と上志段味小の学校規模が適正に確保できるまでの間、志段味東小へ通学することとしている（委託通学措置）。



委託通学措置について



委託通学措置とは、通学区域（学区）を変更せずに適正な学校規模が確保されるまでの時限的な特例措置です。上志段味小で実施されているように決められた児童全員が指定された学校に通学するものと、各家庭が通学先の学校を選択できるものの2種類あります。

今後の予定

- ～令和5年11月 通学区域、校名等を教育委員会へ報告
- ～令和8年3月 校歌、制服等を協議
- 令和8年4月 開校（設計：令和4～5年度 工事：令和6～7年度）

今後も適宜便りを作成し、活動状況を皆様にお知らせいたします。